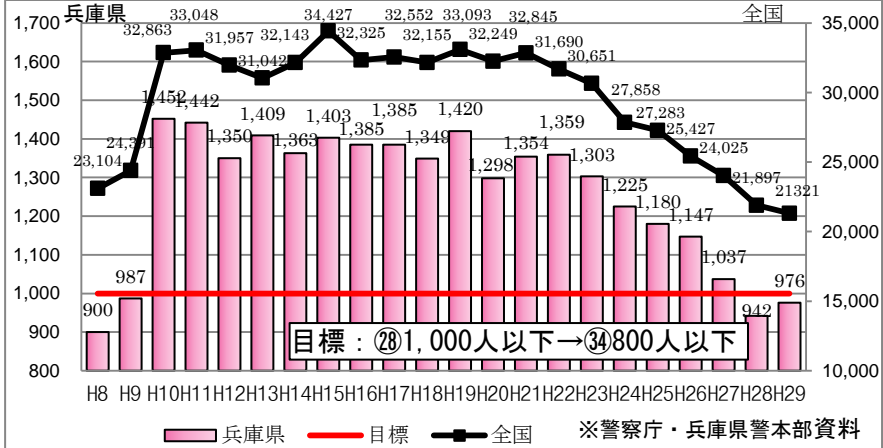


自殺対策の総合的な推進

平成 29 年の自殺者の状況 (※警察統計から)

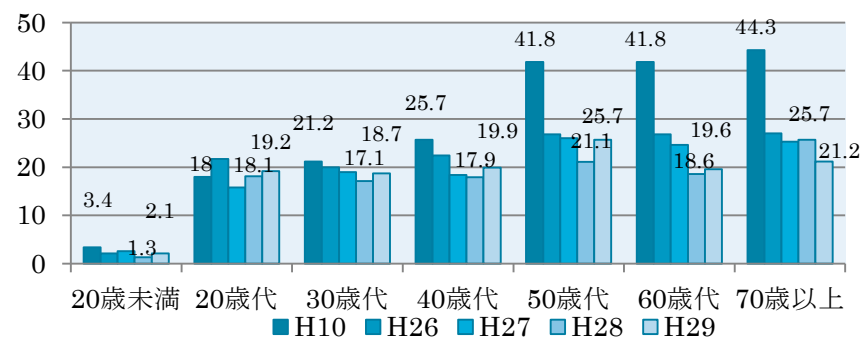
H29年の自殺者数：976人(H28：942人、 $\text{\textcircled{28}}$ 比 +34人(3.6%増))
 1,000人以下は維持(急増前のH9：987人より減)、依然、交通事故死者数($\text{\textcircled{29}}$ 161人)の約6倍もの自殺があることは、社会的に重要な課題
 →新たな数値目標「5年間で800人以下」をめざしさらなる取組強化

(1) 自殺者数の推移



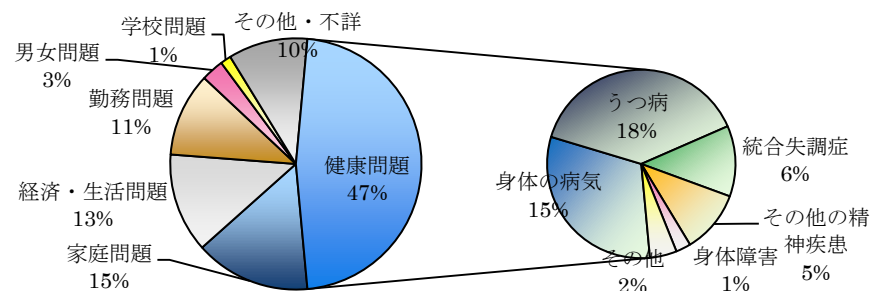
(2) 年齢階層別の自殺死亡率 (※人口10万対)

他の年齢層では、急増期(H10)から減少傾向の中、20歳未満及び20歳代は、横ばい。



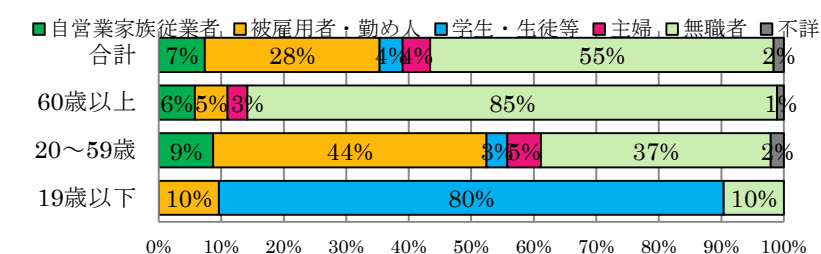
(3) 自殺の理由 (H28と同傾向)

健康問題がほぼ半数を占め、家庭問題、経済・生活問題、勤務問題の順。健康問題のうち、うつ病等の精神疾患が全体の約3割。



(4) 職業別の自殺者の割合

20～59歳の働き盛り層世代において、無職者が約4割。



「兵庫県自殺対策計画」(H29.12 推進方策改定)

【基本認識】

- 1 自殺はその多くが心理的に追い込まれた末の死であり、その多くが防ぐことのできる社会的な問題
- 2 自殺対策は、生きることの包括的な支援として実施
- 3 自殺対策は、保健、医療、福祉、教育、労働その他の関連施策と有機的な連携を図り、総合的に実施

【目標】

- 一人ひとりがかけがえのない個人として尊重される「自殺のない社会」の実現をめざす。
- 当面の目標：「5年間(2022まで)で県内年間自殺死亡者数800人以下」

【取組の基本方針】

- 1 関連施策との有機的な連携により自殺のリスク要因を抱える人への支援強化
- 2 地域レベルの実践的取組への支援を充実
- 3 ライフステージ等に応じたきめ細やかな対策を推進

「兵庫県自殺対策計画」に基づく主な取組 (H30年度)

1 相談体制の充実強化

(1) 24時間電話相談体制の強化

○(拡)「兵庫県いのちと心のサポートダイヤル」相談体制の強化

- 開設時間：平日 18:00～翌 8:30、土日祝日 24時間
- 相談体制：2名(18:00～22:00 $\text{\textcircled{29}}$ 4名 \rightarrow $\text{\textcircled{30}}$ 5名) $\text{\textcircled{29}}$ 26,903件
- 「神戸いのちの電話」「はりまいのちの電話」への支援
- 相談員の養成、資質向上、新規確保のための研修を支援

(2) ICTを活用した相談体制の充実

○(新)LINEを活用した相談窓口の情報発信、LINE電話相談開始(4/25)

- 検索連動型広告による相談窓口の案内(広告表示25,400回、広告クリック(県HP自殺防止相談窓口一覧)1,646回(30.3月))

(3) 「こころの健康相談」の充実(精神保健福祉センター、各保健所等)

(4) 子ども・若者の相談体制の充実

- ひょうごっ子悩み相談 いじめ・いじめ被害 24時間ホットライン
- (新)ひょうごっ子SNS悩み相談窓口のモデル設置(8月～2ヶ月間)
- ひょうごユースケアネットほっとらいん相談(ひきこもり相談)

(5) 様々な自殺のリスク要因を抱える人の相談体制の充実

- 経済問題等に係る心の悩み相談(弁護士会委託、休日夜間電話相談)
- 多重債務相談、生活困窮者自立支援相談
- 児童虐待、DV、犯罪・性暴力被害相談、心身の健康問題支援相談

(6) (新)いのちを支える相談支援ネットワークの構築

- 地域で、多様な相談窓口が連携支援できる体制づくりへの支援
- 全県「いのちを支える相談員ネットワーク研修会」30.2月実施 \rightarrow $\text{\textcircled{30}}$ 地域別研修会の実施

2 地域における支援体制の充実

(1) 自殺予防に対する理解の促進

- 自殺予防週間(9月)自殺対策強化月間(3月)を中心に啓発キャンペーン実施

(2) 社会全体での連携した取組の促進(人権ネットワーク事業等)

(3) 地域で「気づき・つなぎ・見守り」ができる人材の養成

- ひょうごいのちとこころのサポーター養成事業(推進リーダー養成数 $\text{\textcircled{29}}$ 269人 \rightarrow $\text{\textcircled{30}}$ 309人)

(4) いのちを支える様々な専門的人材の養成

- いのちとこころを支える相談員養成研修の実施(養成数 $\text{\textcircled{29}}$ 150人 \rightarrow $\text{\textcircled{30}}$ 180人)

問合せ：健康福祉部障害福祉局いのち対策室 078-362-3060

作成年月日	平成30年5月21日
作成部局課室名	健康福祉部障害福祉局いのち対策室 (自殺対策推進本部会議)

3 市町・団体等の地域ごとの取組への支援

(1) 兵庫県いのち対策センターによる市町支援の充実

- ・市町の自殺対策計画策定支援($\text{\textcircled{29}}$ 8市町策定 \rightarrow $\text{\textcircled{30}}$ 全市町策定促進)
- ・市町の地域自殺対策強化交付金事業実施($\text{\textcircled{29}}$ 38市町 \rightarrow $\text{\textcircled{30}}$ 全市町)

(2) 専門的技術向上のための研修

- 市町自殺対策企画研修、自殺未遂者ケア研修、グリーフケア研修等

(3) (新)地域での「いのちを支える相談支援ネットワーク構築」への支援

- 地域単位でサポートシート活用促進の研修会等実施、取組事例収集

4 自殺のハイリスク要因を抱える人への支援の強化

(1) 精神疾患に関わる支援体制の充実

- かかりつけ医と精神科医について、地域単位での連携推進
- ひょうごこころ依存症対策センターによる支援(電話相談 $\text{\textcircled{29}}$ 1～4月84件)
- 精神科救急医療体制の充実

(2) 自殺未遂者支援体制の充実

- 自殺未遂者ケア研修の実施(延べ受講者 $\text{\textcircled{29}}$ 267人 \rightarrow $\text{\textcircled{30}}$ 367人)

(3) 精神保健医療福祉サービスの連携体制の充実

- 各地域自殺対策連絡協議会、自殺未遂者事例検討会等の実施

5～7 各年齢階層別の自殺対策の推進

5 子ども・若者

- 学生が取り組む自殺予防支援事業(延べ実施校 $\text{\textcircled{29}}$ 33校 \rightarrow $\text{\textcircled{30}}$ 40校)
- 「自殺予防に生かせる教育プログラム」の活用推進
- ・教職員カウンセリングマインド研修により全学校に周知、出前研修の実施
- いじめによる子どもの自殺予防
- ・いじめ対応全県・地域ネットワーク会議による連携体制の強化
- ・いじめ対応マニュアルの活用促進、重大事態への対応研修の実施
- ひきこもり対策(新)ひきこもりサポーターの育成)
- 若者の就労支援の充実
- ・ひょうごしごと情報広場、若者しごと倶楽部における就職相談・支援
- 青少年のインターネット依存等防止対策の推進
- ・青少年のネットトラブル防止大作戦

6 中高年層

- 働きざかりのこころの健康相談開設(年4回開設)
- 企業等のメンタルヘルス改善支援事業(実施数 $\text{\textcircled{29}}$ 135社 \rightarrow $\text{\textcircled{30}}$ 140社)
- ワーク・ライフ・バランスの啓発推進
- ・ひょうご仕事と生活センターによる企業に向けた情報発信、相談・研修

7 高齢者層

- 介護支援専門員自殺予防研修の実施(延べ受講者 $\text{\textcircled{29}}$ 874人 \rightarrow $\text{\textcircled{30}}$ 1,074人)
- 老人クラブ活動強化推進事業(高齢者見守り、健康・生きがいづくり)
- 地域包括支援センターの相談機能等の強化を図るための研修等(認知症高齢者とその家族からの相談対応等)

8 自死遺族等遺された人への支援の充実

- 自死遺族支援団体等への助成($\text{\textcircled{29}}$ 4団体補助 \rightarrow $\text{\textcircled{30}}$ 4団体補助)